

いちご新品種「栃木iW1号」の育成 (商標名：ミルキーベリー)

背景

栃木県産のイチゴの魅力向上と関連商品の多様化を目的として、果皮・果肉ともに白味が際立ち大果、多収で良食味なイチゴ新品種「栃木iW1号」を育成しました。

育成経過

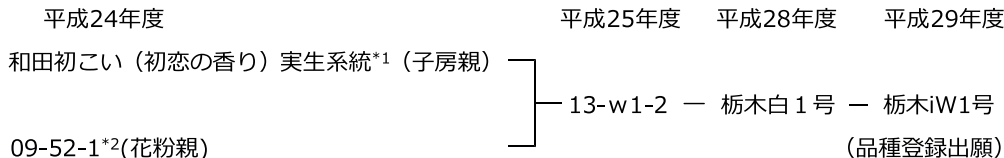


写真1 着果状況

栃木iW1号の特徴

- ・「栃木iW1号」には次のような特徴があります。
- ・草姿は開張性で、生育、収穫始期は「とちおとめ」並です。
- ・「とちおとめ」より大果で、収量性に優れます。
- ・果形は円錐形で果皮色は白みの強い黄白色、果肉は白色で、光沢は「とちおとめ」並に優れます。
- ・二次腋以降の花房を主として先つまり果の発生がみられます。
- ・瘦果は赤みを帯びて着色し、陽光面の種子の着色程度、果皮色から収穫適期を判断できます。
- ・果実品質は糖度は「とちおとめ」並み、酸度はやや低く良食味で、果皮硬度は「とちおとめ」並です。

表1 生育・収穫始期・1果重・先つまり果発生率

品種	1月下旬の葉長 (cm)			頂花房着花数 (個/株)	収穫果数 (個/株)	収穫始期 (月/日)			1果重 (g)	先つまり果率 (%)
	葉柄長	葉身長	葉幅			頂花房	一次腋花房	二次腋花房		
栃木iW1号	10.3	8.6	6.3	11.5	40.3	12/7	1/19	2/23	20.9	8.2
とちおとめ	9.4	7.2	5.6	18.8	43.7	12/12	1/20	3/1	16.4	0.2

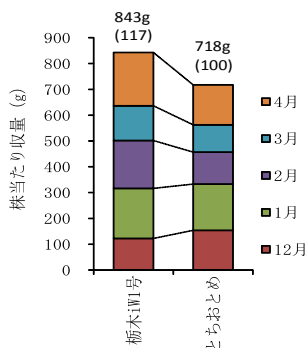


図1 月別収量

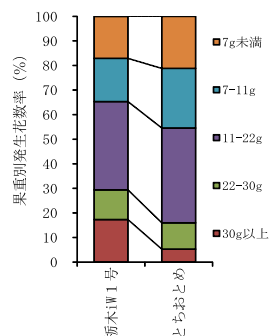


図2 果重階級別果実の発生



写真2 果実外観



写真3 果実断面

表2 果実品質

品種	糖度 (Brix)	酸度 (%)	糖酸比	果皮硬度 (g f / φ 2mm)
栃木iW1号	10.1	0.50	20.2	58.5
とちおとめ	10.5	0.61	17.2	57.5



写真4 着色過程写真 (2月7日~13日) ※ 暖候期には桃色に着色する果実もみられる